

SPIEGEL

4月号

2022. March.11/Vol.3

調査概要

<調査期間>

調査実施日：2022年3月25日～2022年4月5日

昨年同時期：2021年3月24日～2021年4月4日

Subjects

1 〈学生動向〉 P.2

- ・説明会平均参加率と平均参加社数
- ・面接平均参加率と平均参加社数
- ・平均内定率と平均内定社数

2 〈企業動向〉 P.5

- ・主要ナビサイト4月説明会告知社数（地域別）
- ・マイナビでの4月全国説明会告知社数（対面・WEB比較）
- ・企業の内々定出し開始予定時期

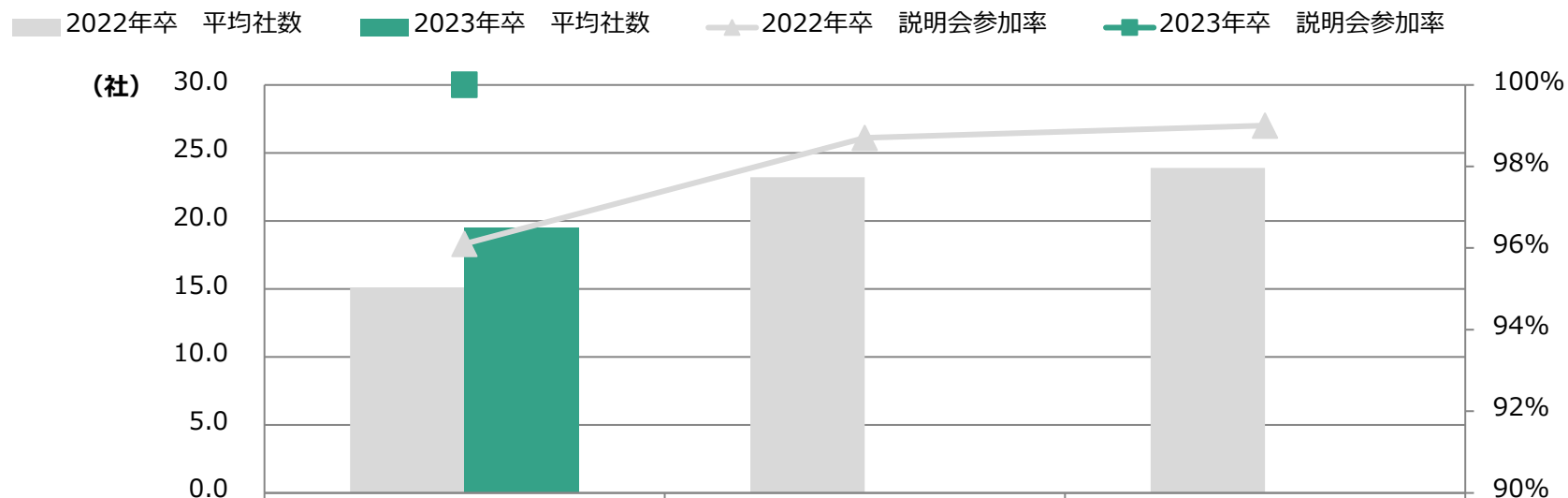
3 〈学生アンケート〉 P.7

- ・ 現在登録している就活ツールを教えてください。
- ・ 理想の説明会（対面/WEB）の規模を教えてください。
- ・ あなたが説明会で意識してみている点はどこですか？
- ・ 先輩座談会や先輩社員との面談で、まず何を聞きますか？
- ・ あなたが思う「大手企業」の定義やイメージは何ですか？
- ・ いつまでに就職活動を終了したいと考えていますか？
- ・ 「口コミサイト」で企業情報は確認しますか？
- ・ 家族や友人などの意見を聞いて、エントリーや選考に参加することをやめた企業はありますか？
- ・ 志望業界以外の企業からスカウトが来た際に、
どのようなとき（条件・内容）であればその企業の説明会に参加しようと思えますか？
- ・ 理想の社会人像はありますか？
- ・ 就職活動のなかで特に時間を取られている・手がかかると感じていることは何ですか？

4 〈新入社員エッセイ〉 P.20

1. 学生動向

説明会平均参加率と平均参加社数

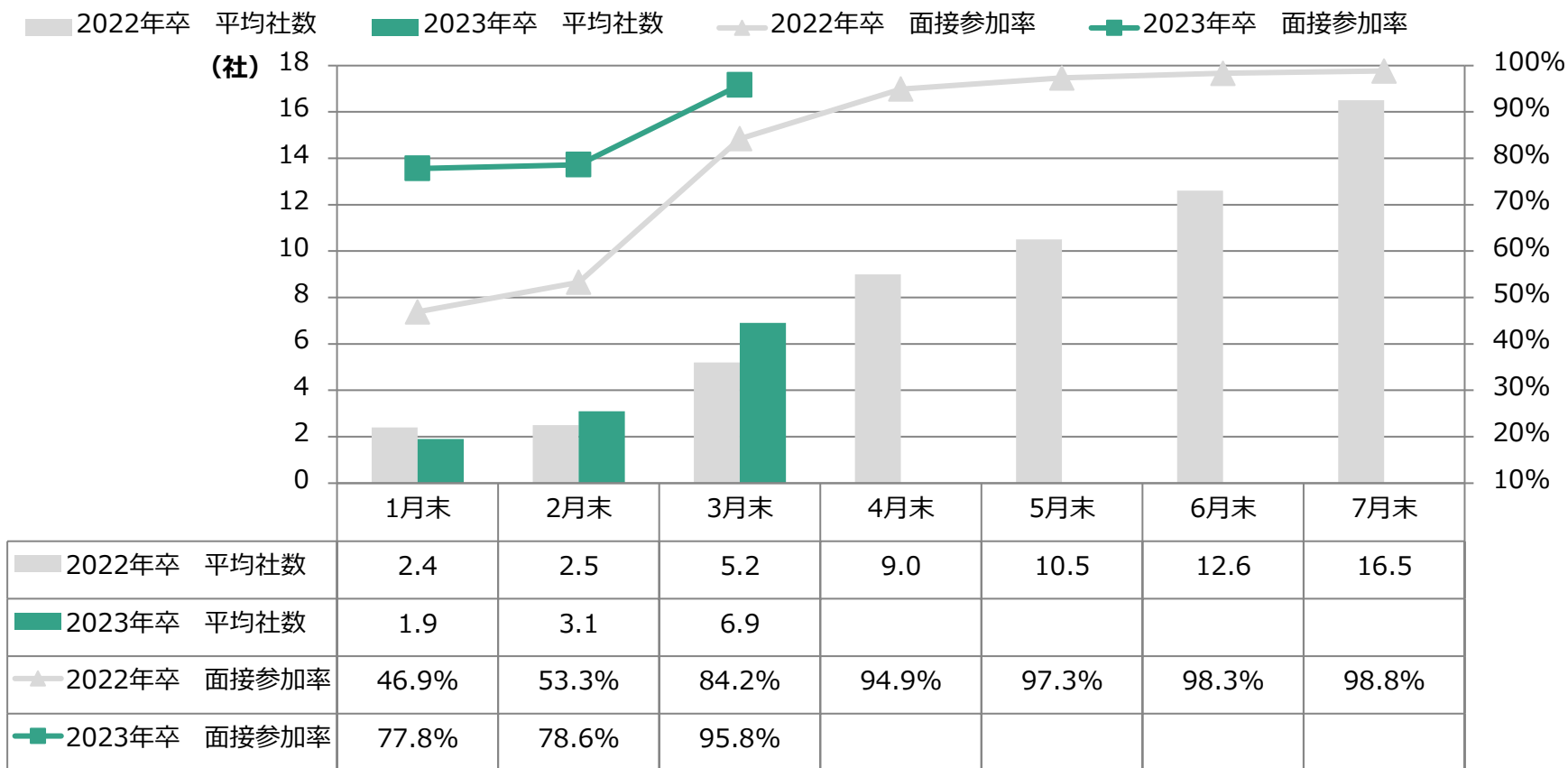


■ 対面説明会の参加社数は、昨年同時期より4.4社増加

昨年同時期と比較すると、説明会参加社数は4.4社増加していました。企業の採用活動の早期化が主な要因と考えられます。新型コロナウイルス流行以前は、3月末時点ではおよそ10社前後だったのに対し、もはや20社に迫っています。ちなみに、開催形式別では、対面で2.9社、WEBで16.0社と、大きく差がついています。

1. 学生動向

面接平均参加率と平均参加社数

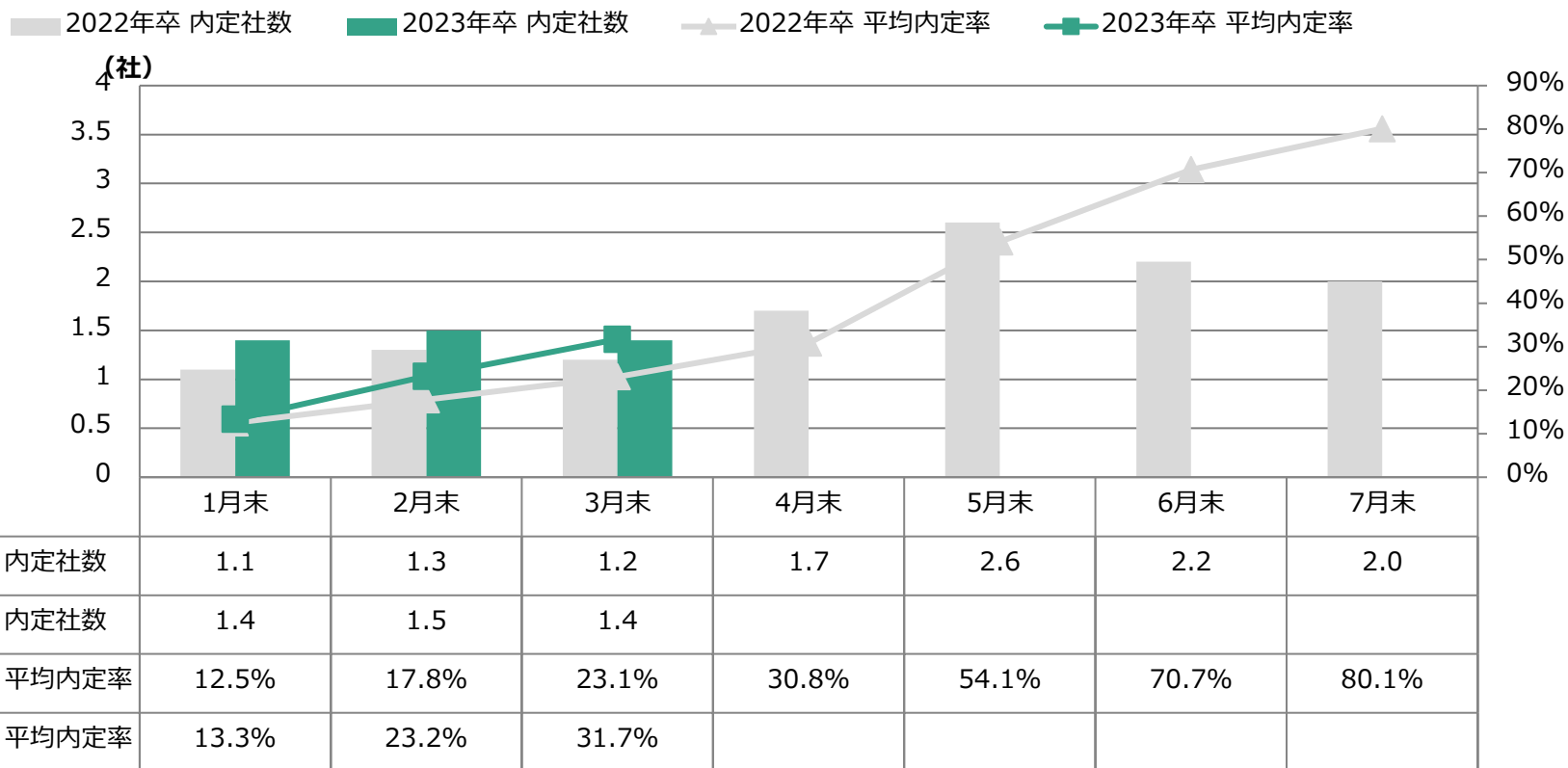


■ 先月より、面接参加率は17.2ポイント増加

先月末と比較すると、面接参加率は17.2ポイント、参加社数は3.8社上昇しています。参加率については、昨年4月の平均値を上回っており、解禁わずか1カ月で学生の選考参加率が急増していることがわかります。

1. 学生動向

平均内定率と平均内定社数



■ 内定率は31.7%、前年4月と並ぶ結果に

内定率は31.7%と先月末よりも8.5ポイント上昇し、前年の4月末を超える結果となりました。平均内定社数は伸びていませんが、内定の獲得率は前年よりも順調にあがってきています。前年より早期化している採用戦線への対応が求められているといえそうです。

2. 企業動向

4月の説明会告知社数は22卒を大きく上回る結果に

主要ナビサイト4月説明会告知社数（地域別）

◆首都圏

	3月	4月	増減
マイナビ	7091	6475	-8.7%
リクナビ	3337	2922	-12.4%

※マイナビは本社所在地が関東/説明会開催地が関東・WEBの企業

◆近畿

	3月	4月	増減
マイナビ	2766	2540	-8.2%
リクナビ	1712	1397	-18.4%

※マイナビは本社所在地が関東/説明会開催地が関東・WEBの企業

マイナビでの4月全国説明会告知社数（対面・WEB比較）

◆同年3月との比較

	3月	4月	増減
説明会告知 全企業数	17243	15695	-9.0%
対面	9894	8523	-13.9%
WEB	12676	11202	-11.6%

※対面・WEBどちらも実施している企業を含む

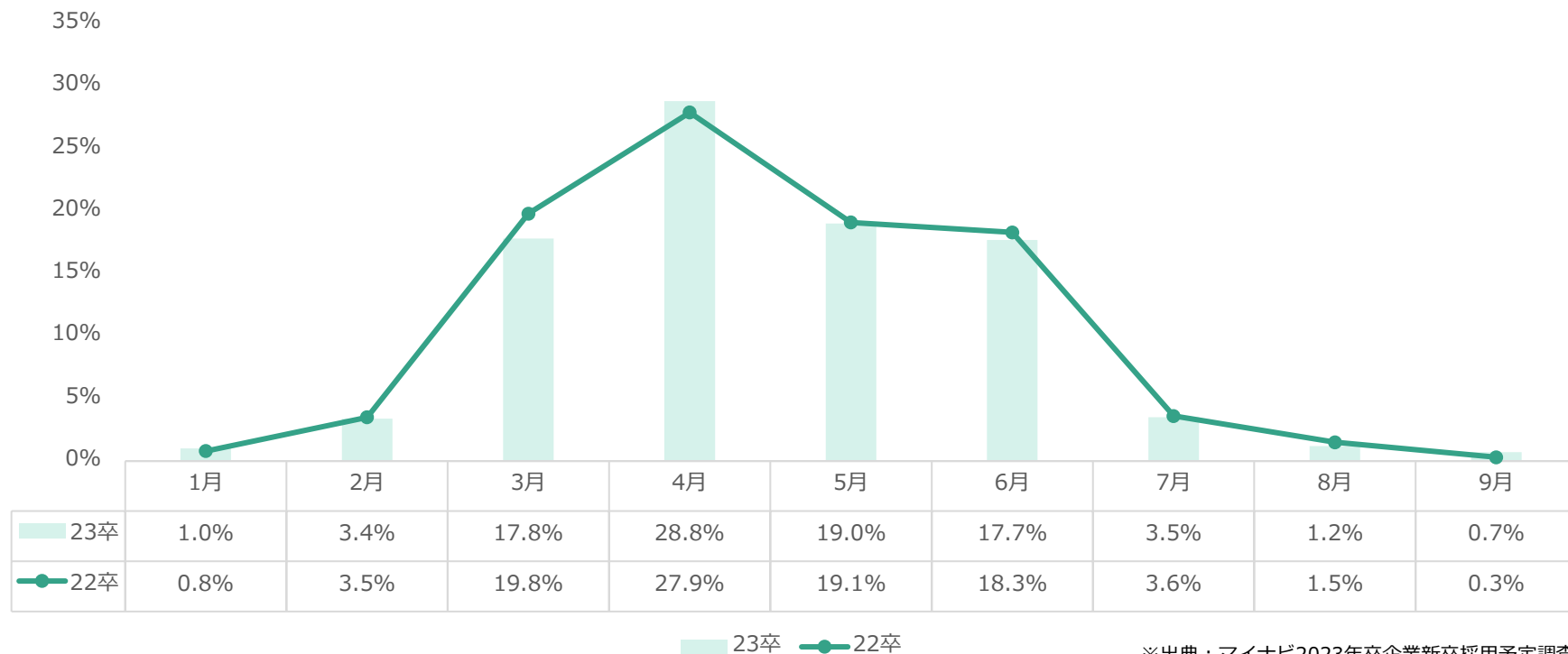
◆前年4月との比較

	22卒	23卒	増減
説明会告知 全企業数	14221	15695	+10.4%
対面	8541	8523	-0.2%
WEB	9148	11202	+22.5%

※対面・WEBどちらも実施している企業を含む

2. 企業動向

企業の内々定出し開始予定時期



※出典：マイナビ2023年卒企業新卒採用予定調査

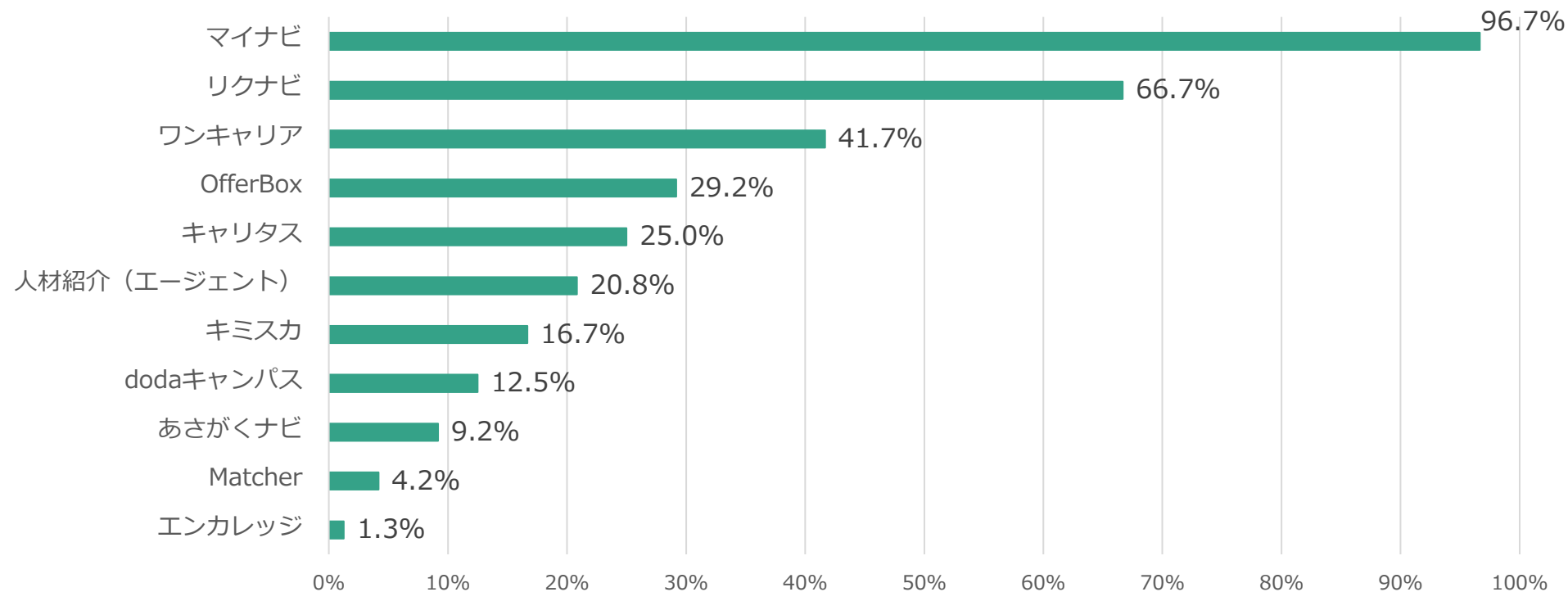
■ 説明会告知社数は22卒から約10%UP

4月のマイナビでの説明会告知社数は、22卒の同月と比較して全体で10.4ポイントプラス、またWEBでは22.5ポイントプラスと大きく昨年を上回る結果となりました。企業の採用意欲が昨年よりも増し、説明会への動員が厳しくなっている状況が浮き彫りになりました。

企業の内定出し時期も22卒同様4月がピークとなってくることを考えると、母集団形成のための早急な対策が必要となっています。

3. 学生アンケート

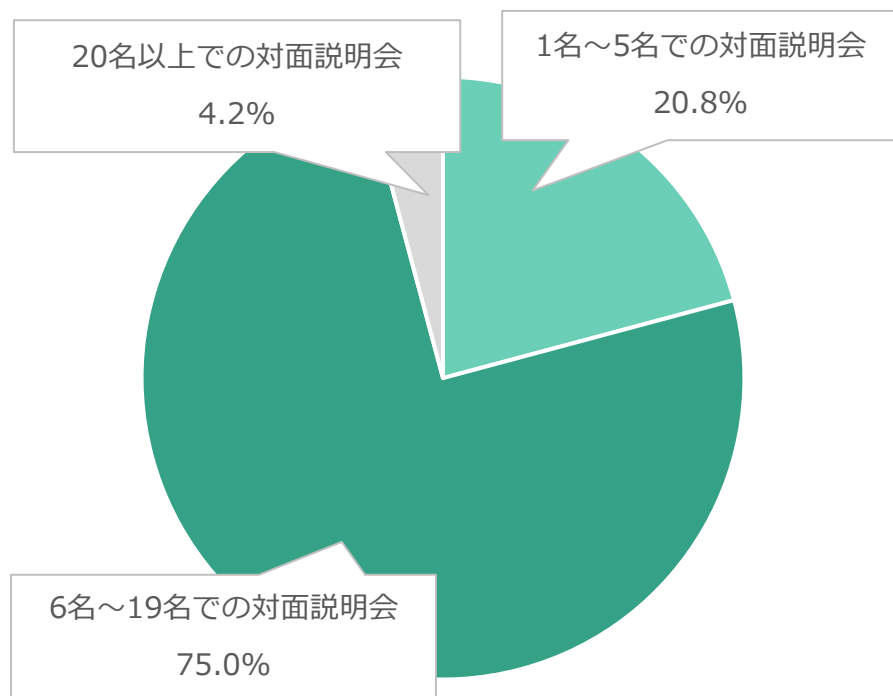
Q.現在登録している就活ツールを教えてください。（複数回答可）



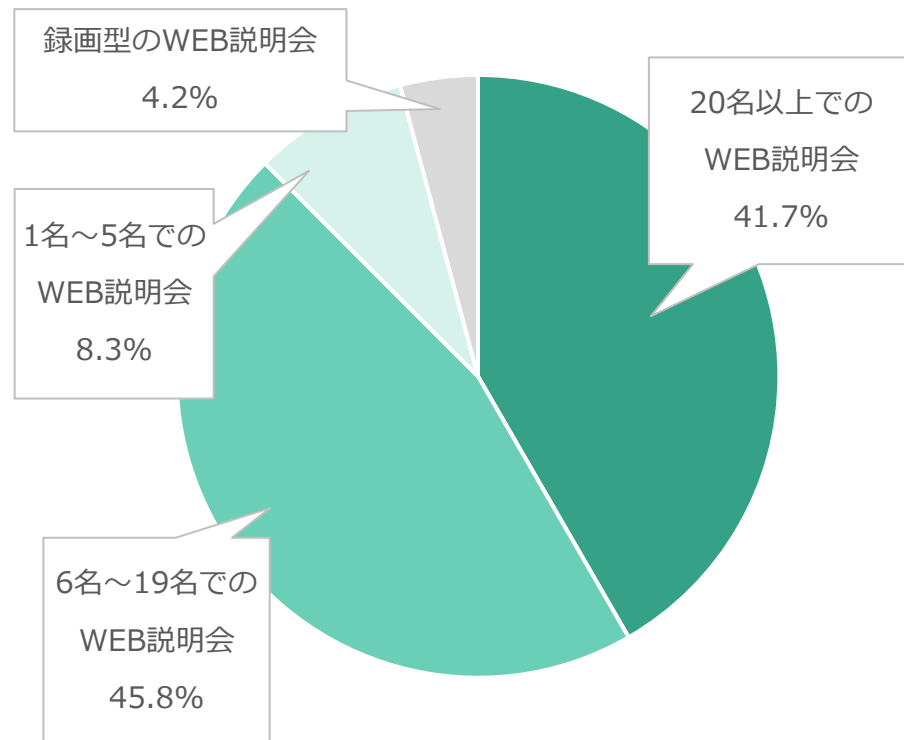
1位マイナビ、2位リクナビという構図は、1月末の調査時より変わらず安定しています。この一か月間の変化でいうと、先月末は登録率が28.6%だったワンキャリア（学生の口コミ情報を掲載）が、今月は41.7%と、13.1ポイント上昇しています。解禁後、学生の選考参加数が増えたことで、企業の口コミを参考に行っているのかもしれませんが。

3. 学生アンケート

Q.理想の説明会（対面）の規模を教えてください。



Q.理想の説明会（WEB）の規模を教えてください。

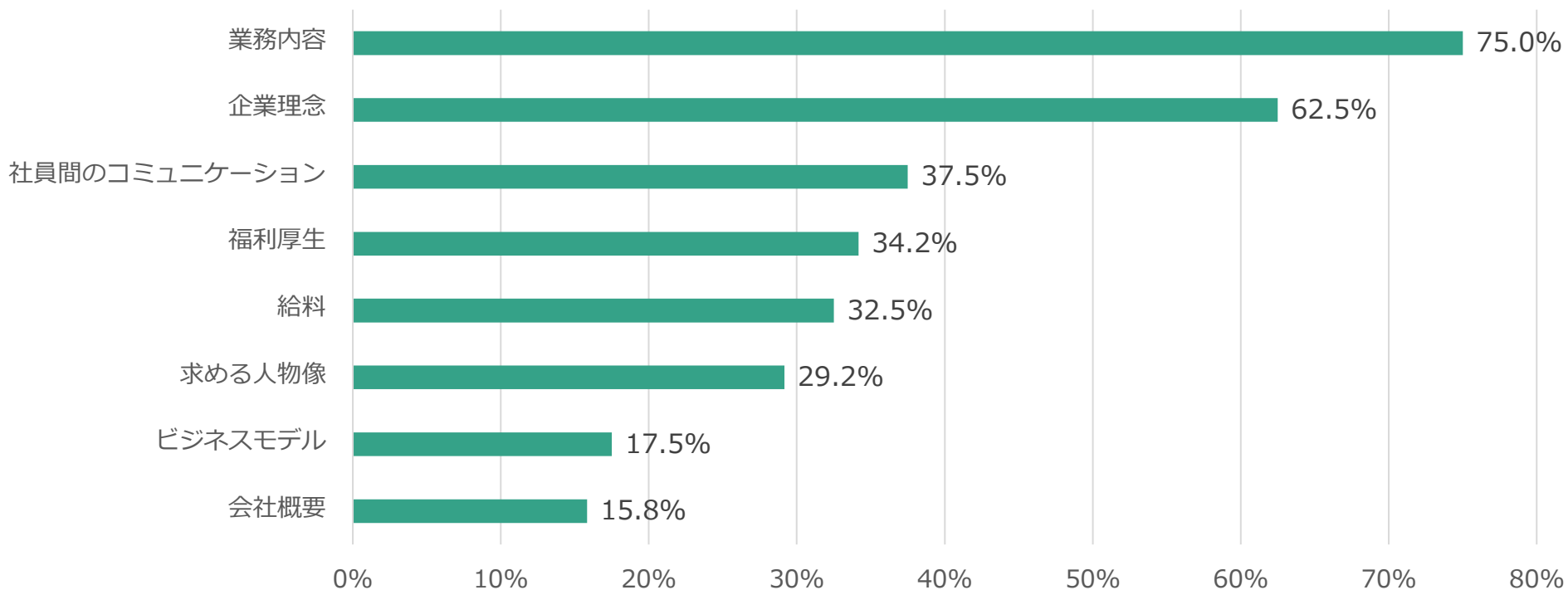


理想的な対面説明会の規模は、参加者が6～19名の中規模程度だという回答が、75.0%と圧倒的に支持を集めました。また、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念もあってか、20名以上の規模になるよりは、1～5名での少人数開催のほうが好まれています。

一方、WEB説明会でいうと、41.7%は20名以上が望ましいとも回答しており、少人数よりは人数が多い方が理想的なようです。また、録画型を希望する学生は4.2%と、かなり少数派です。

3. 学生アンケート

Q.あなたが説明会で意識してみている点はどこですか？（上位3つ）



説明会で意識してみている点を、上位3つまで選んでもらいました。1位は「業務内容」、2位は「企業理念」、3位は「社員間のコミュニケーション」となりました。入社後、実際に自分が携わる仕事内容に関心が高く、企業理念なども重要視しているようです。いまひとつ内定者の満足度がわからないという企業は、職種ごとの仕事内容や、入社後すぐの働き方などに重きを置いて説明してもよいかもしれません。

3. 学生アンケート

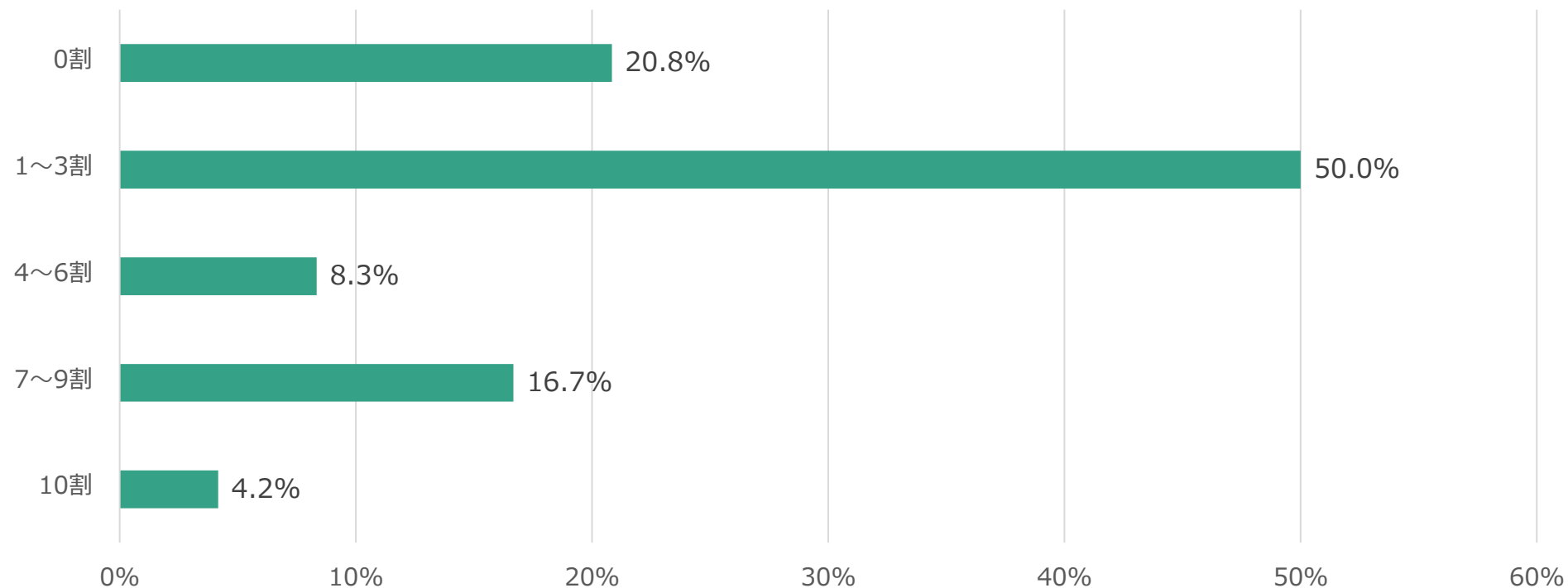
Q.先輩座談会や先輩社員との面談で、まず何を聞きますか？（必ず聞いていることなど）

- ・ 入社の決め手
- ・ 会社内の雰囲気
- ・ 印象に残る就活生の特徴
- ・ 一日のスケジュール、やりがい
- ・ 活躍されている方に共通するスキルやしていること
- ・ 入社して1番成長できた能力、ここ5年間の変化
- ・ 入社前と入社後のギャップ
- ・ 将来なりたい人物像、その為に何を意識的に行っているか
- ・ しんどい時・辛い時どのように乗り越えるか
- ・ モチベーションになっていること
- ・ 社会に貢献していると実感した瞬間のエピソード
- ・ 最もやりがいを感じる瞬間
- ・ 入社時はどんなキャリアプランを描いていたか
- ・ 今後のキャリアのビジョン
- ・ 先輩後輩の関係性や社長との交流の方法

仕事のやりがいやキャリアに関する質問など、働く姿をイメージしやすい質問をしているようです。また、モチベーションの上げ方や印象に残る就活生の特徴など、自分自身の就職活動に活かせるような回答も見られました。ここに登場した質問は頻出かと思しますので、座談会を予定している企業は、ぜひ事前準備の参考にしていただければと思います。

3. 学生アンケート

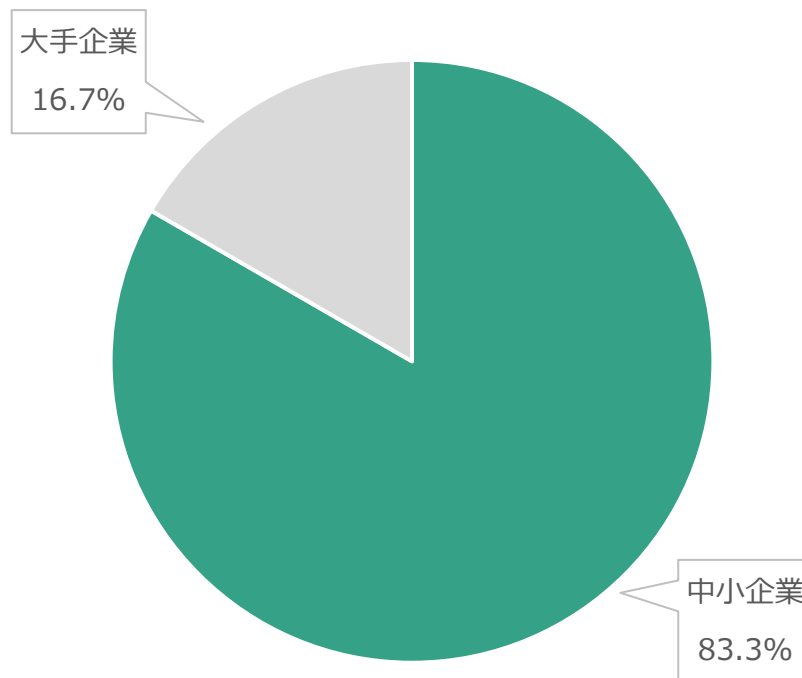
Q.就職活動の中でリクルートスーツを着て外出している時間は、
就職活動にかけている時間全体の何割を占めていますか？



スーツを着て外出している時間は、就職活動全体の3割以下であると答えた学生が、70.8%と多数を占めています。また、3月末時点で一切対面での活動を実施していない0割という学生も、20.8%存在します。家から一歩も出ずに、就職先を決めてしまえるという昨今の市場変化を実感させます。

3. 学生アンケート

Q.現在選考に進んでいる企業は、大手企業と中小企業どちらが多いですか？



選考に進んでいる企業の比率でいうと、83.3%が中小企業、16.7%が大手企業という結果になりました。一見、学生が中小志向になっているのかと思われそうですが、実際は、大手企業の場合、倍率の高さゆえに書類選考などに受からず、受けてはいるが突破できていないという学生も多いために、このような差がついているという見方もできます。

3. 学生アンケート

Q.あなたが思う「大手企業」の定義やイメージは何ですか？

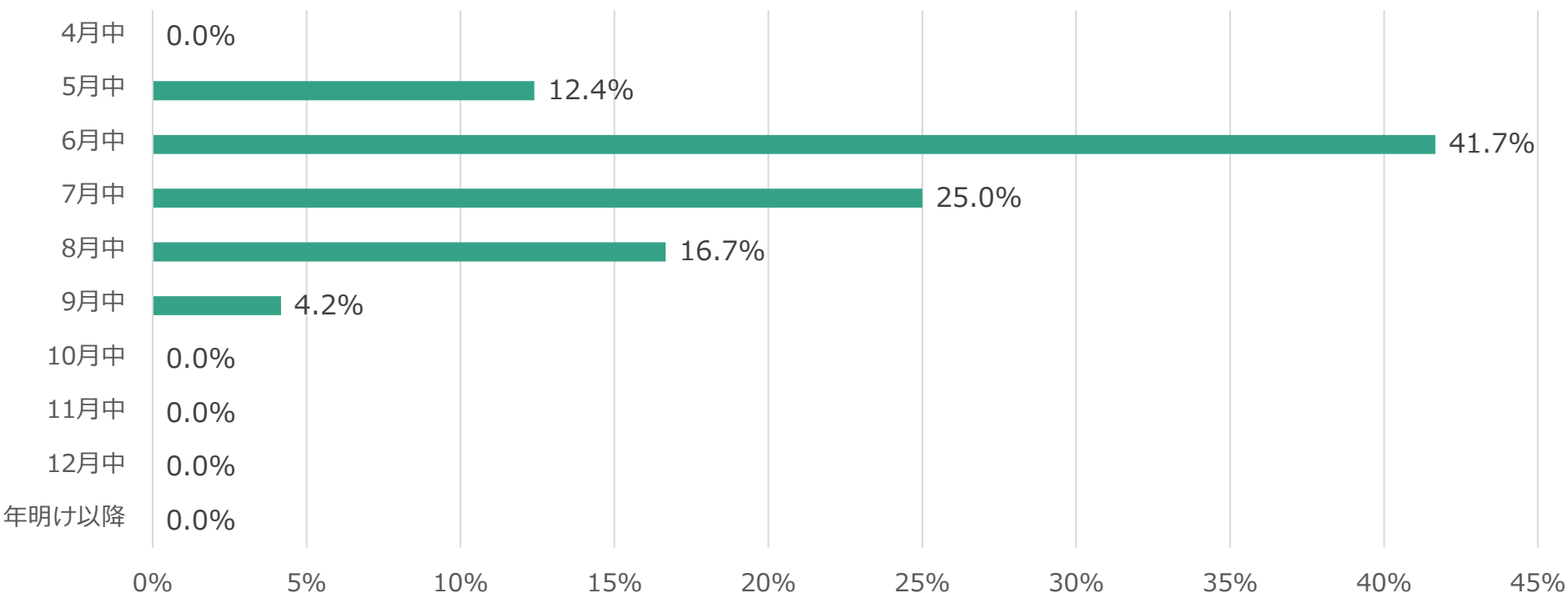
- ・ 誰もが名前を聞いたことがある
- ・ 従業員数
- ・ 会社が倒産することがほとんどない
- ・ 一部上場企業
- ・ 安定している、知名度がある
- ・ ある程度決まった部署の中で決まった仕事をこなす
- ・ 社員数が多く年功序列
- ・ 企業体系が確立されており、業務がデジタル化している
- ・ 年次ごとの業務内容がある程度固定されている
- ・ 福利厚生がしっかりしており、良い大学の方が多い
- ・ 企業の小さな歯車として一人一人が目の前の業務をこなす
- ・ 一般的な考えを持つ人が多い
- ・ 基盤がしっかりしているが柔軟性に欠ける部分がある

「大手企業」と一口に言っても、学生ははたしてどのような企業のことを大手と認識しているのか、またどのようなイメージを持っているのか、尋ねてみました。定義については、「従業員数」や「名前を聞いたことがある」、「上場している」など漠然としており、明確な基準までは把握していないようです。

イメージについては、「福利厚生がしっかりしている」「安定している」など良い印象を抱いている一方で、「柔軟性に欠ける部分がある」など、大手ゆえの懸念点についても、同時に考えています。

3. 学生アンケート

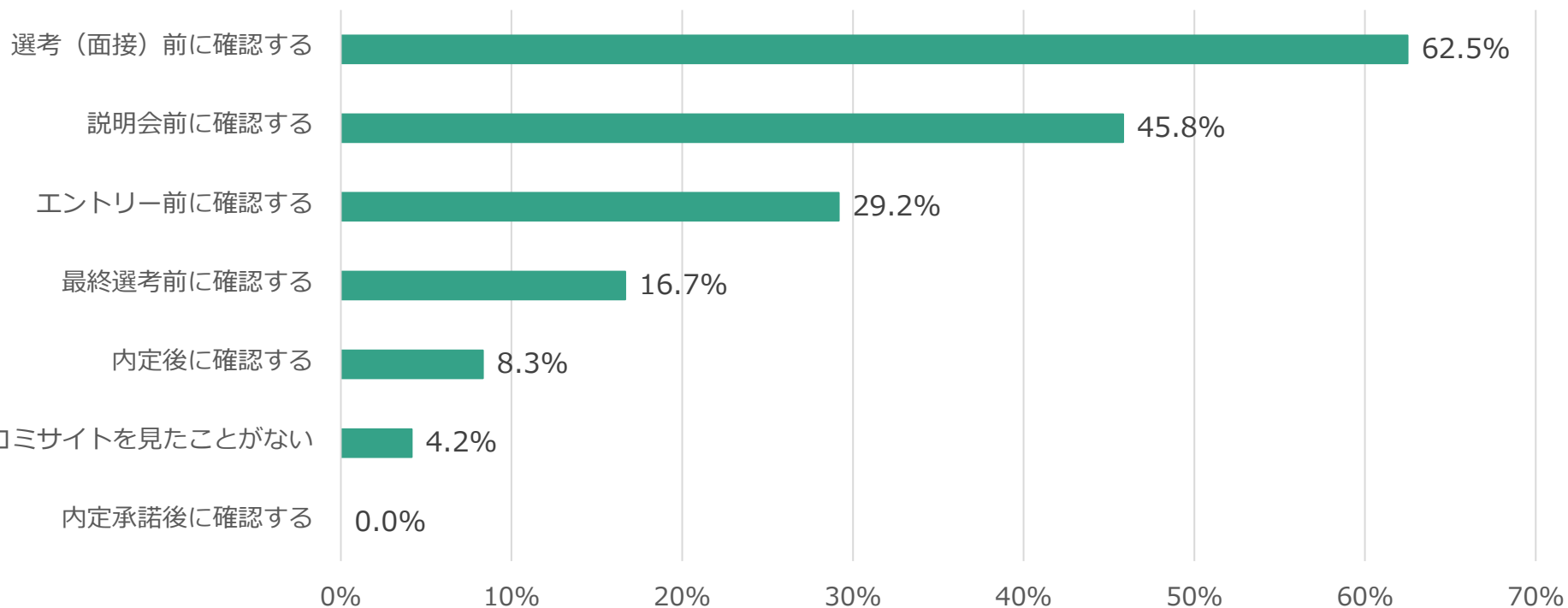
Q.いつまでに就職活動を終了したいと考えていますか？



就職活動については、6月中に終了したいという回答が、41.7%と最多でした。3月末時点では、10月以降での終了を予定している回答はなく、8月までに終了したいと考えている学生が、95.9%です。夏までに一区切りつけたいという傾向は、コロナ前から変わらずあるようです。

3. 学生アンケート

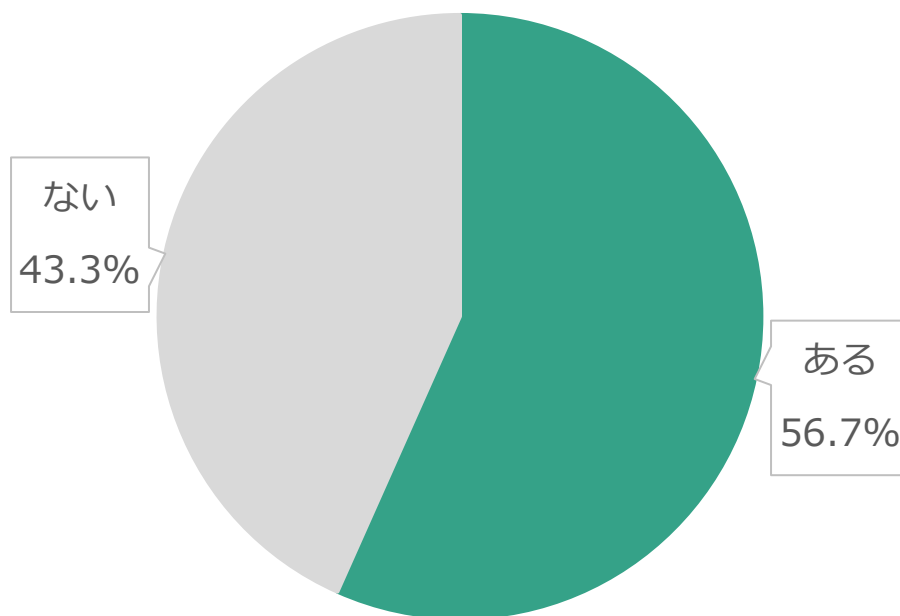
Q. 「口コミサイト」で企業情報は確認しますか？（複数回答可）



企業の「口コミ」を確認するかどうか尋ねたところ、「選考前に確認する」という回答が62.5%と最多でした。口コミサイトを見たことがないという学生は全体の4.2%となっており、裏を返せば残りの95.8%は、見たことがあるという結果になりました。たかが口コミだと油断せず、企業は、採用に至らなかった学生への対応などにも気を配る必要があります。

3. 学生アンケート

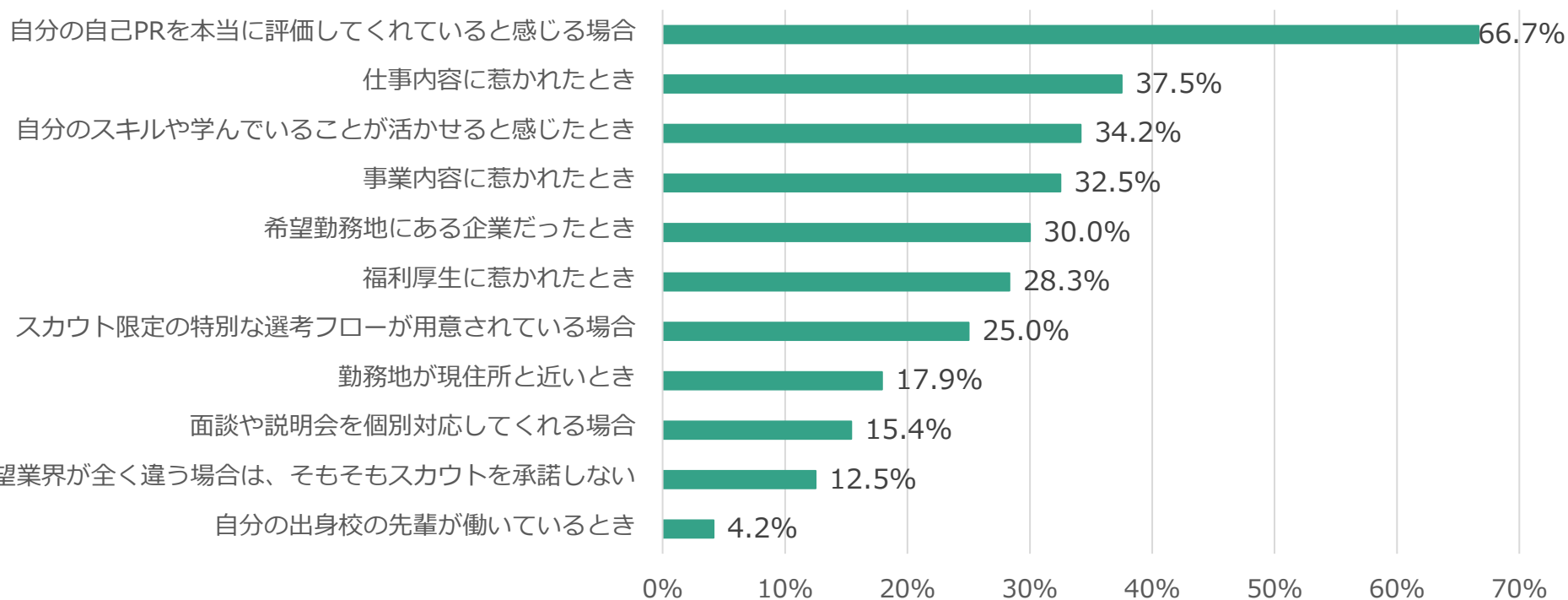
Q.家族や友人などの意見を聞いて、エントリーや選考に参加することをやめた企業はありますか？



家族や友人の意見を聞いて、選考参加を「やめたことがある」という回答が、56.7%と半数以上になっています。内定承諾ではなく、エントリーや選考段階から、家族や友人の意見を参考にしている学生も多いようで、企業が把握していないところで学生の志望度が下がっている可能性もあります。学生が、自分の口で受けている企業の魅力を説明できるくらい、選考内でしっかりと理解を深める必要があります。

3. 学生アンケート

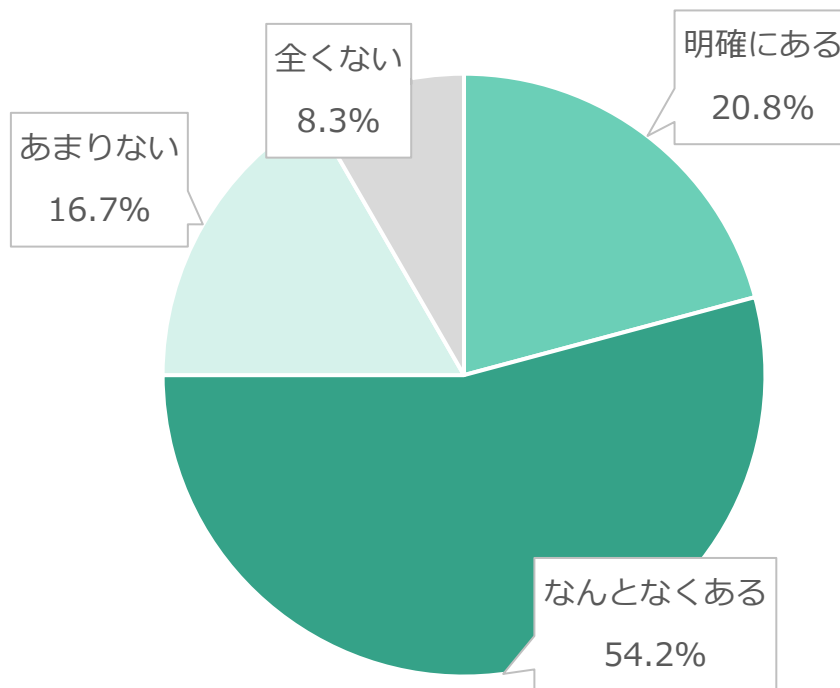
**Q.志望業界以外の企業からスカウトが来た際に、
どのようなとき（条件・内容）であればその企業の説明会に参加しようと思いますか？（複数回答可）**



スカウトで効果をあげるには、自社の企業アピールではなく、「学生の自己PRをしっかり読み込んでフィードバックする」ことが、一番の近道といえます。企業アピールをする場合は、「仕事内容」を中心に、やりがいや向いている人物像などを伝えるとよいかもしれません。

3. 学生アンケート

Q.理想の社会人像はありますか？

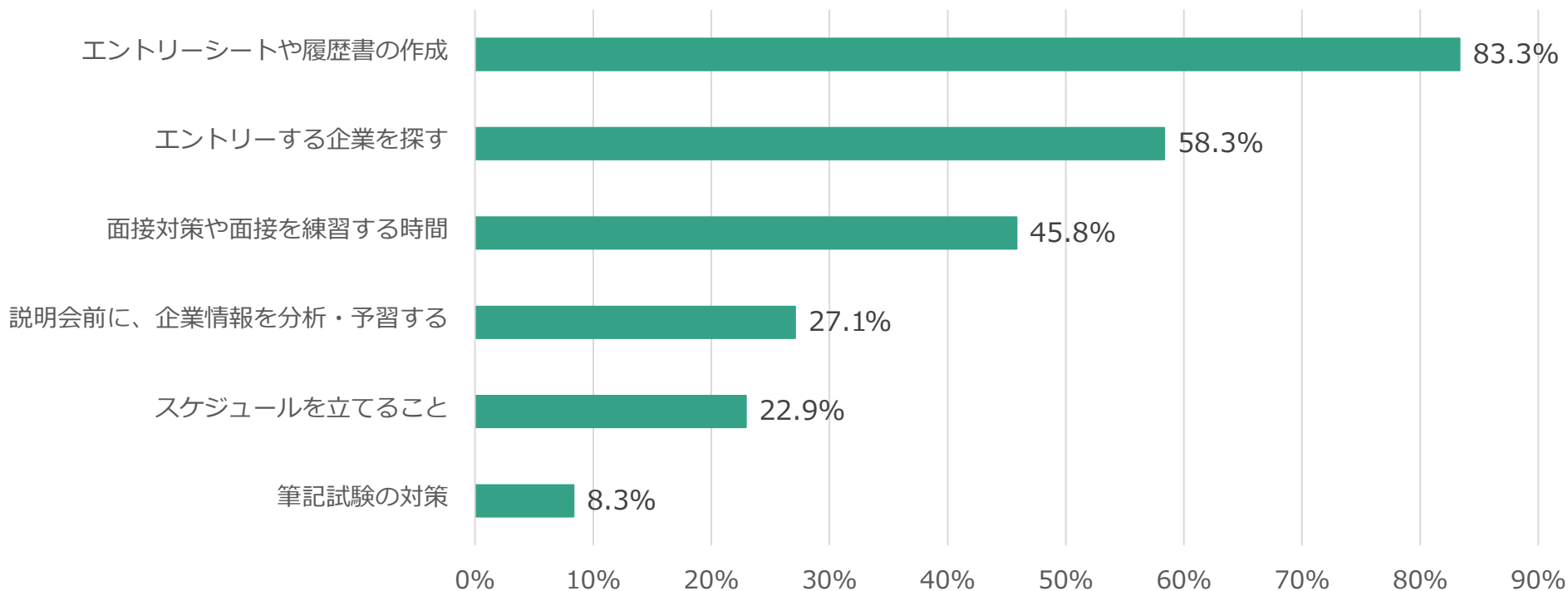


現時点で、理想の社会人像を持っている学生は75.0%でした。なかでも、「なんとなくある」という回答が54.2%と半数を占めており、明確な目標を抱いて就職活動に臨んでいる学生は、全体の20.8%です。

また、少数ですが、「8.3%」の学生は理想の社会人像が「全くない」と回答しています。コロナ禍で、アルバイトや学業など人との関わりを制限された生活を送ってきた23卒にとっては、社会人としての将来を想像するのが難しいのかもしれない。

3. 学生アンケート

Q.就職活動のなかで特に時間を取られている・手がかかると感じていることは何ですか？（複数回答可）



就職活動のなかで、最も時間がかかっているのは「エントリーシートや履歴書の作成」でした。

また、数千社の中からエントリーする企業を探す作業にも、時間をとられているようです。ナビサイトに掲載している企業は、学生の検索の手間を省くという意味でも、サイト内で上位表示ができるオプション企画などは、効果があると思われます。

4. 新入社員エッセイ

初めまして。2022年4月に入社しました大森啓司です。よろしくお願いいたします。
趣味は野球観戦です。野球は、小、中、大学の10年間していました。大学では、軟式野球サークルに所属していました。ここでの経験が、入社してからの自分と重なると日々感じています。

サークルの練習は、週に3回ありました。私には、高校3年間のブランクがあったため、一度たりとも練習を無駄にできないと考えました。練習ごとに意識することや目標を決めて、練習に取り組んでいました。練習後は、その日の課題をノートにまとめ、次の練習に活かすということを繰り返していました。中学時代には投手だったこともあり、打撃投手にも積極的に取り組み、自分ができるところを探して行動に移していました。そのかいもあり、私が大学3年生になった時にはサードで試合に出場できるようになっていました。

この経験は、仕事に活かせると考えています。毎日あらゆることを学んでいます。まずは、自分にできることを全力でしていきたいです。さらに、大学でも活用していたP D C Aサイクルを、仕事でも活かしながら着々と成長していきます。今後ともよろしくお願いいたします。

<2022年4月入社 大森 啓司>

4. 新入社員エッセイ

入社から一週間が経ちました。これまで生きてきた22年間の中で、一番早く感じる一週間でした。まだまだ研修が多く、働くうえでの基礎を学んでいる段階ですが、学生時代とは全く異なる学びが多いです。

学生の頃は自分が学びたいことを学ぶだけでした。しかし、社会人になると「相手にどう思われるか」、「不快にさせないために身につけておかなければならないことはなにか」、「相手に気持ちの良い思いをしてもらうためにはどうするのか」など、相手の視点に立って学ばなければならないことが多いと現時点では感じています。このギャップは覚悟はしていましたが、かなり大きいものでした。

特に、もし失敗して失礼なことをしてしまうとこの先の信頼にも影響すると思うと、気を引き締めて学ばなければならないと思います。また、学生時代と違って、失敗が自分だけではなく会社全体にも影響するので、そのことを念頭に置いておかなければとも思います。

営業として入社したので、早く営業に出たいと思う気持ちはありますが、まずは基礎を固めて、仕事をさせても大丈夫と太鼓判が押された信頼できる新入社員になれるよう、がむしゃらに努力していきたいです。

<2022年4月入社 矢野 優佳>